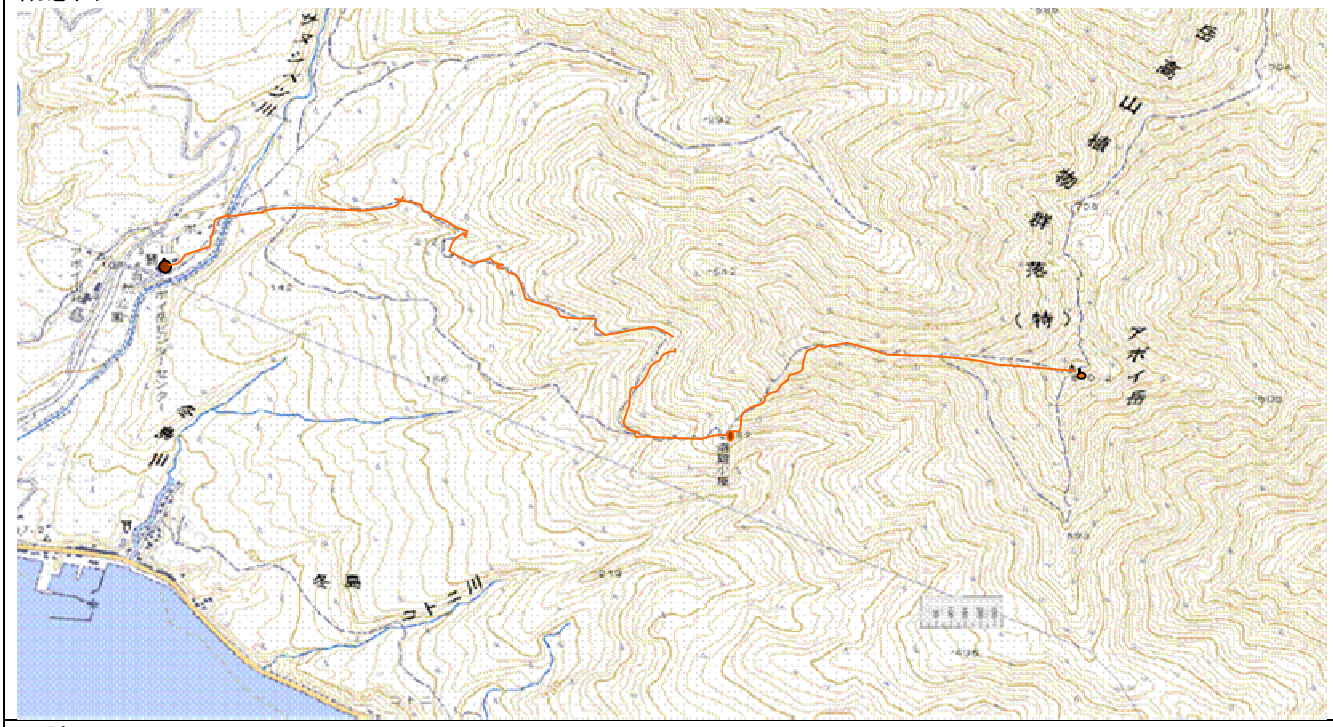
山 行 報 告 書

作成:年月日
愛知岳連　岡崎山岳会

山名[山域]	アポイ岳	目的[方法]	花見
期間	2011/05/09	形態	ピストン
参加人数	2人		

行動記録:
5/7(土)中部空港 7:00～千歳空港 8:45　9:30＝旭川 13:00＝男山自然公園散策 16:00＝道の駅かみふらの日乃出公園 18:00(泊)
5･8(日)道の駅かみふらの日乃出公園 5:00＝沙流川オートキャンプ 6:00＝日高竜門 10:00＝静内二十間桜並木 14:00＝静内温泉 16:00＝アポイファミリーキャンプ場 18:00(泊)
5/09(月)　アポイビジターセンター(430)―避難小屋(530,600)－頂上(700,730)－アポイビジターセンター(1030)＝三石温泉＝千歳空港 21:15～中部空港 23:05

概念図:



日誌:

アポイファミリーキャンプ場内の駐車場にて車中泊。4 時起床。朝食を済ませ薄暗い中登山口へ向かう。平日なので登山者は二人だけ。途中ぬかるんだ登山道の真ん中に熊の足跡発見。直ぐ近くに熊よけのためのりっぱな鐘があり納得する。避難小屋からは岩場の多い登りとなるが登山道はしっかりと整備されていて歩きやすく花も多い。頂上から吉田山への稜線は残雪と笹で花は期待できない為展望をたのしみながら下山にかかる。登山口近くのオオサクラソウをしっかりカメラに収めてアポイ山荘にて汗を流し千歳空港へ向かう。

感想:
今回の北海道はお花見中心でしたが、男山自然公園のカタクリとエゾエンゴクサは終盤を迎えていた。静内二十間桜並木のさくらはまだつぼみで花見の客だけが目立つ。判官管自然公園のエンレイソウは今が盛りとばかりに園内を埋め尽くしていた。ついでにアポイ岳に登ってきました。お花の山として有名なアポイ岳ですがこの時期は花も少なく人も少なくて静かな山でした。予定外で通りすがりに寄った判官管自然公園の白花エンレイソウの群落は素晴らしくて本当に幸運でした。
北海道は時期を変えて何度でも訪れたい魅力的なところです。

参加者名	金原。宮城